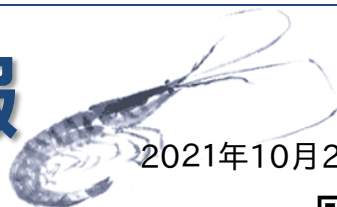


石川県漁海況情報



484号

2021年10月20日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>

携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

フクラギの漁況の見通し（予報期間:10月～11月）

- 10～11月の水揚量は261トン程度と見込まれ、前年および過去5年平均をやや上回ると予想されます。

カマスの漁況の見通し（予報期間:10月～12月）

- 10～12月の水揚量は81トン程度と見込まれ、前年および過去5年平均を下回ると予想されます。

大型クラゲ情報（期間:9月27日～10月12日）

- 全国的に出現数は減少しているものの、依然として島根県から北海道の広い範囲で大型クラゲが確認されています。

石川県周辺海域の水温（期間:10月1日～5日）

■ **沿岸の海面水温** 10月5日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は23～24℃台で、過去5年平均との差は±0.0℃～+0.5℃程度でした。

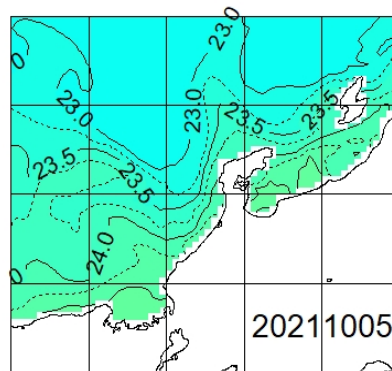
■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は24.3～24.7℃で、9月中旬から約0.6℃低下しました。前年同時期との差は-0.6～+0.6℃、過去5年平均との差は+0.6～+1.3℃でした。

※観測ブイの位置:橋立、富来、門前、曾々木、小泊、小浦、鶴川、岸端の各沿岸

■ **港内の水温** 今期の水温は24.9～25.0℃で、前年同時期との差は-0.2～+0.8℃、過去5年平均との差は+1.2～+1.6℃でした。

※港内:橋立漁港、宇出津港、石崎漁港

石川県周辺の海面水温



石川県主要港の水揚状況（期間:9月16日～30日）

■ **定置網** マイワシは前年を上回り、シイラ・フクラギ・コゾクラ・マアジは前年並み、サワラ・サゴシは前年を下回りました。

■ **まき網** サバ・フクラギ・コゾクラ・ガンド・ブリは前年を上回りました。

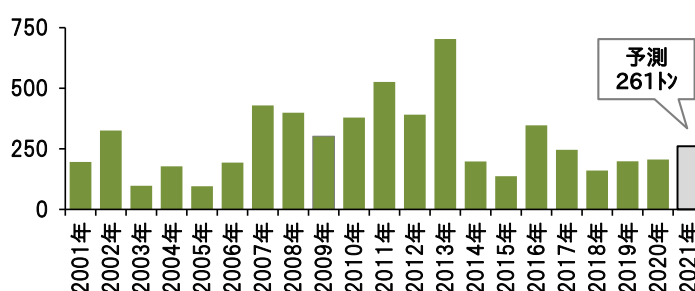
■ **底びき網・ごち網** ニギス・ホッケ・ハタハタは前年を上回り、アマエビは前年並みでした。

■ **刺網・釣り・その他** ベニズワイガニ・サザエは前年を上回り、スルメイカは前年を下回りました。

フクラギの漁況の見通し（予報期間:10月～11月）

■ 今年生まれたブリ幼魚（0歳魚）は、本県では7月頃からボウズやコゾクラと呼ばれるサイズで定置網に入網し始め、10月頃にはフクラギと呼ばれるサイズに成長します。今年7～9月の主要10港の定置網による水揚量は95トン（速報値）であり、過去5年平均（236トン）を下回っています。

水揚量(ト) 定置網のフクラギ水揚量(10～11月)

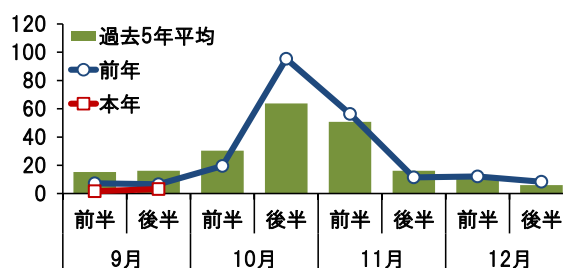


■ 10～11月の水揚量については、11月1日時点の富山湾の50m深水温が高い年ほど多い傾向がみられており、今年の水温は過去5年平均よりやや高いと推定されています。水温と水揚量の関係式から、10～11月の水揚量は261トンと見積もられ、前年（206トン）および過去5年平均（232トン）をやや上回ると予想されます。

カマスの漁況の見通し（予報期間:10月～12月）

■ 石川県の定置網では例年、9月以降にカマス（アカカマス）の水揚げが本格化します。今年9月の水揚量は5トン（速報値）であり、前年（14トン）および過去5年平均（31トン）を下回っています。

単位(ト) 定置網のカマス水揚量



■ 10～12月の定置網による水揚量は、9月の水揚量から予測することができます。9月の水揚量と10～12月の関係式から、今期の定置網による水揚量は81トン程度と見積もられ、前年（203トン）および過去5年平均（178トン）は下回ると予想されます。

大型クラゲ情報（期間:9月27日～10月12日）

■ 水産研究・教育機構および漁業情報サービスセンターが10月12日までに発表した大型クラゲに関する情報は以下のとおりです。

日本海 島根県から北海道の広い範囲で定置網や底びき網で入網しています。1日当たりの入網は、数個体から30個体程度ですが、島根県の定置網で9月27～30日に50～100個体（傘径60cm）、石川県の定置網で10月4日に53個体（傘径50cm以下）、鳥取県の底びき網調査で10月5日に45個体（傘径30～100cm）入網するなど、時折、まとまった入網がみられました。広島大学が行った舞鶴・小樽間フェリーによる目視調査では、10月7～8日に60個体が確認されています。

対馬海峡 水産研究・教育機構が行った博多・対馬間フェリーによる目視調査では、確認されませんでした。

■ 全国的に出現数は減少しています。しかし、県内の定置網や底びき網では依然として入網が続いていることから、引き続き注意して下さい。

集計期間9月16日～9月30日 (水揚量の単位はトン)

水揚港 魚種	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲 地区	宇出津	七尾 地区	期間合計	
								本年	前年
定置網									
しいら	0.0		8.8	3.5		0.0	39.0	51.4	56.1
ふくらぎ・こそくら	0.1	0.0	4.6	18.6		0.1	11.5	35.0	35.3
まあじ	0.1	1.7	5.1	3.0		1.1	14.0	25.0	21.6
まいわし						0.0	19.4	19.4	0.0
さわら・さごし	1.6	0.5	11.7	3.5			0.3	17.7	147.5
あおりいか	0.1	0.3	2.1	1.9		0.1	2.9	7.4	9.0
そうだがつお	0.0	0.0	0.2	0.0			5.8	6.0	8.9
がんど			3.3	0.1		0.0	1.6	4.9	0.4
かます	0.0	0.0	0.2	0.3		0.0	2.7	3.3	6.6
さば	0.0	0.1	0.5	1.1			0.2	1.9	12.6
かじき類			0.5	0.6			0.7	1.9	0.7
まだい	0.0	0.0	0.3	0.2	0.0	0.0	1.2	1.8	0.9
その他	0.5	1.2	3.1	1.8	0.0	0.8	44.4	51.6	29.0
合計	2.4	3.8	40.6	34.5	0.0	2.1	143.8	227.2	328.6
まき網									
さば	—		263.3	33.6		—		296.9	174.5
ふくらぎ・こそくら	—	25.0	91.8	178.0		—		294.7	92.7
がんど	—	28.4	123.7	0.0		—	14.4	166.5	4.8
ぶり	—	94.9			0.1	—	16.7	111.7	0.7
その他	—	1.8	20.7	8.9	0.6	—		32.0	17.9
合計	—	150.1	499.5	220.5	0.7	—	31.1	901.8	290.5
底びき網・ごち網									
にぎす	4.8	34.5	15.7	2.7	8.2		—	65.9	27.0
ほっけ	0.1	1.0	0.9	45.3	1.4	0.9	—	49.6	2.9
あまえび	7.8	29.2	0.3	2.4	0.1		—	39.7	39.6
はたはた	0.0	0.0	0.5	0.6	9.1	1.0	—	11.3	2.5
めつきだい(キガイ)	2.4	4.0	0.0	3.6			—	10.0	5.5
まだら	0.0	0.6	0.0	6.3	0.2		—	7.2	5.9
あかがれい	0.8	0.6	0.6	4.6	0.1		—	6.6	5.8
のどぐろ(アカムツ)	0.3	0.1	0.1	4.6	0.0		—	5.1	2.9
すがれい(ムシガレイ)	1.1	0.3	0.1	3.5	0.0		—	5.0	3.0
その他	9.0	10.2	2.6	25.7	1.8	0.4	—	49.7	46.7
合計	26.4	80.3	20.8	99.3	20.9	2.4	—	250.1	141.8
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		33.2	13.0					46.1	32.3
さざえ		0.0	0.9	25.7	0.2	0.2	0.1	27.0	0.9
するめいか		0.3	4.5	8.8	1.6	0.3		15.6	22.2
がんど		0.1	0.5	6.0		0.0		6.6	1.5
やなぎばちめ(ウスマバル)			0.0	4.7	0.1	0.1	0.2	5.1	4.5
あまだい	0.3	0.1	0.3	2.7	0.3	0.0		3.6	1.9
かわはぎ(ウマヅラ)	0.0	0.0	2.3	0.5	0.0	0.0	0.1	2.9	6.9
その他	1.0	1.0	1.6	15.8	0.7	5.0	2.5	27.5	27.2
合計	1.3	34.6	23.1	64.1	2.8	5.6	2.8	134.4	97.6
総計	30.1	268.9	584.0	418.3	24.4	10.2	177.7	1513.5	858.5

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計